



# 猫の爪切りのコツとは？おすすめの切り方・頻度・嫌がる場合の対処方法などをご紹介します

猫の爪切りの必要性や、おすすめの切り方、爪切りの頻度、嫌がる場合の対処法などについて、詳しくまとめていきます。



## 完全室内飼いの猫の場合は爪切りが必要

外で生活をしている野良猫の場合は、木に登る、狩りをする、などといった活動があるため、爪研ぎを自分でしている程度で問題ないことがほとんどです。しかし、完全室内飼いの猫の場合、壁やカーテン、家具などに傷をつけてしまう恐れがあるほか、飼い主やご家族を引っ掻いて怪我をさせる危険性もあるため、爪切りは基本的に必要だといえるでしょう。

## 爪が伸びすぎると肉球や皮膚を傷つけてしまうリスクがある

猫の爪が伸びすぎると、剥がれ落ちるべき古い爪が残ってしまい、爪が太くなり、巻き爪となってしまうことがあります。場合によっては、巻いた爪が肉球や皮膚に突き刺さり、歩行障害などにつながる恐れがありますので、定期的な猫の爪切りは必要だといえるでしょう。

## 猫の爪切りのタイミングはいつ？

猫の爪を切るタイミングは、「猫が何もしていない時」がベストです。抱きかかえて手短に行いましょう。嫌がる場合は無理に爪切りを行おうとせず、一度の爪切りで1〜2本分の爪を切れたら大成功くらいに考え、少しずつ慣らすようにすると良いでしょう。

## 猫の爪切りで必要なもの

猫の爪切りには、ギロチンタイプと、ハサミタイプの2種類があります。ギロチンタイプは、爪の先端部分を丸い金具に通して、パチンと切り取るものです。切れ味はもっとも鋭く、慣れると使いやすいとされています。一方、ハサミタイプは子猫の爪を切る場合や、巻き爪を切る場合などに便利です。

## 血管や神経に傷がつかないように爪を切る

猫の爪のうち、ピンク色に透けて見える部分には、血管や神経や通っているため、切らないように気をつけましょう。深爪しないコツは、なるべく爪の先端を切るようにすることです。

## 爪を切るおすすめの順番

多くの猫は、前足の爪を切られることを嫌がる傾向があるため、まずは後ろ足から爪切りを行うのがおすすめです。次に、爪切りを行う指については、親指側（内側）の指になるほど嫌がる傾向があるので、小指側（外側）から爪切りを行うのが良いでしょう。

## 爪切りがうまくいかない場合も想定して準備する

気をつけて爪切りを行っていても、うまくいかず、血管や神経を傷つけてしまう場合も想定されます。そのため、失敗したときに慌てないように、止血剤と清潔なガーゼなどを事前に準備しておくことで安心です。

## 猫の爪切りの頻度はどれくらいが良いか

爪切りを行う頻度としては、子猫の場合は週1回程度、成猫の場合は2週間に1回程度、高齢猫の場合は3週間に1回程度がおすすめです。肉球を軽く押すと爪が出てきますが、その爪の先端が尖ってきていたら切りどきだと言えます。

## 猫が爪切りを嫌がる・暴れる場合のコツ

### ①前足の爪を切る場合

前足の爪を切る場合は、肘関節を押して伸ばし、肘から先には爪を切る箇所以外はほとんど触れないようにして切るのが良いでしょう。

### ②後ろ足の爪を切る場合

猫の後ろ足は前足よりも可動範囲が狭くなっているため、赤ちゃんを抱き上げるようにして持ち上げるか、横に倒れた状態で切つてあげると、負担が少ないです。赤ちゃん抱っこを行う際には、かかとの関節を持つと切りやすいでしょう。

### ③サポートしてくれる人がいれば楽に作業できる

サポートしてくれる人に、猫を赤ちゃん抱っこしてもらったり、横向きに寝転んでいる猫の前足と後ろ足を関節あたりで掴んでおいてもらったりすると、かなりスムーズに爪切りを行うことができます。

### ④抑えることが難しい場合は「猫袋 (みのむし袋)」を活用する

サポートしてくれる人がおらず、猫が暴れやすい傾向にある場合には、「猫袋 (みのむし袋)」に猫を入れて、動きを抑えながら作業するのが良いでしょう。

ノミ・マダニに関する最新情報をチェック!

📍 LINE 公式サイト LINE@友達募集中 →

